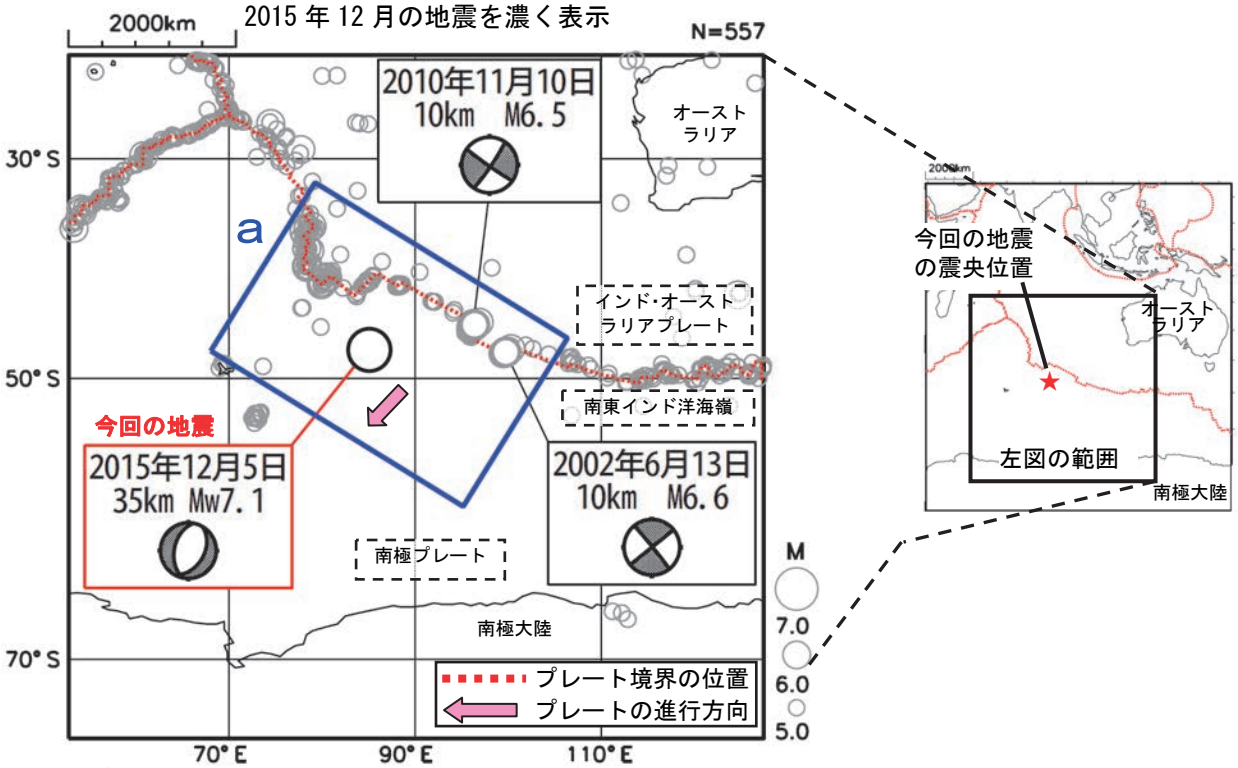
12 月５日　南東インド洋海嶺の地震

2015 年 12 月 5 日 07 時 25 分（日本時間、以下同じ）に、南東インド洋海嶺の深さ 35km で Mw7.1 の地震が発生した。この地震は、南極プレートとインド・オーストラリアプレートの境界から南西へ約 700 km離れた場所の南極プレート内で発生した。発震機構（気象庁による CMT 解）は西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型である。

1980 年以降の活動を見ると、南極プレートとインド・オーストラリアプレートの境界付近では、M6.0 以上の地震は時々発生しているが、プレート境界から離れた今回の地震の震央付近では、M5.0 以上の地震もなく、M７を超える地震は今回が初めてである。

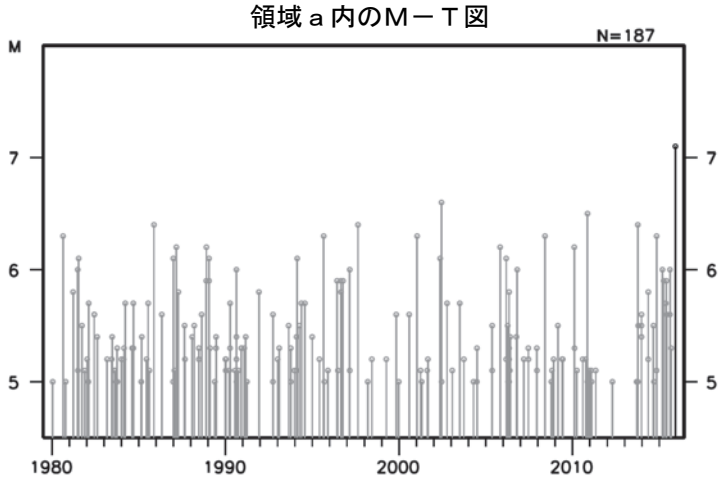
なお、気象庁は同日 07 時 54 分に遠地地震に関する情報（日本への津波の影響なし）を発表した。

震央分布図
（1980 年１月１日～2015 年 12 月 31 日、深さ０～100km、M≧5.0）
2015 年 12 月の地震を濃く表示



プレートの進行方向は、インド・オーストラリアプレートを固定した場合の南極プレートの進行方向である。

領域ａ内のＭ－Ｔ図



本資料中、今回の地震の発震機構と Mw は気象庁による。その他の震源要素と発震機構は米国地質調査所（USGS）による（2016 年１月５日現在）。プレート境界の位置は Bird（2003）*、進行方向は USGS による。

＊参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.